

TEAM SANBONGI

～進路指導部通信～

大切なお金の話 受験から大学生活まで

受験料

大学入学 共通テスト	3教科以上 18,000円 2教科以下 12,000円	成績通知を希望する場合は別途800円が必要となります。
国公立大学 ※1校あたり	個別学力検査 17,000円 学校推薦型・総合型選抜 17,000円	詳しくは、大学パンフレットもしくはHPで最新情報をご確認ください。
私立大学 ※1校あたり	一般選抜 約35,000円 共通テスト利用入試 約15,000円 学校推薦型選抜・総合型選抜 約35,000円	大学によって異なるため、詳しくは大学パンフレットもしくはHPをご確認ください。

受験シミュレーション ※交通費と宿泊費は生徒1人を想定しています。

項目	概算（一般受験で国公立・私立を受験する場合）
願書請求	・国公立大学は1校あたり200円前後 ・私立大学は1校あたり200円～、学校によっては送料無料の場合もあり
大学入学 共通テスト受験	18,000円（3教科以上を受験で18,000円、成績通知申込をつけると 別途800円）
受験料	国公立大学 一般選抜 17,000円×前期・後期分＝34,000円 私立大学 一般選抜 35,000円×3校＝105,000円 ※試験実施会場に赴く必要があります。 大学入学共通テスト利用入試 15,000円×2校＝30,000円 ※会場受験は行われません。
交通費	新幹線を利用し、七戸十和田駅・東京駅間を移動×3回 新幹線で片道16,610円×往復分＝33,220円、3回だと99,660円 ※事前に学校で学割申請をすれば、乗車券が2割引になります（当日不可） ※交通費と宿泊費込みのプランを販売する業者もあります。
宿泊費	都内に宿泊、1泊2食8,000円×3泊分＝24,000円
その他	飲食代（昼食代他）1日1,500円×3日分＝4,500円 新幹線以外の交通費1日1,000円×3日分＝3,000円
合計	約320,000円が必要

2023年度 大学の学費〔国立大学〕標準額と〔公立大学・私立大学〕平均額

※「2023年度大学の学費平均額」（旺文社教育情報センター2023年9月29日）を基に算出

※施設設備費については「私立大学等の令和5年度入学者に係る学生納付金等調査結果について」（文部科学省）を基に算出

区分	授業料／年	入学料 ※入学時のみ	施設設備費／年	4年間の合計
国立大学	535,800	282,000	施設費、実習費、諸会費などを支払う場合があります。学部によっても金額が異なります。	2,425,200
公立大学 ※地域内外の区別がない 学校もあります。	地域内 534,485	221,935	施設費、実習費、諸会費などを支払う場合があります。学部によっても金額が異なります。	2,359,875
	地域外 533,431	382,631		2,516,355
私立大学	971,664	259,890	165,271	4,807,630

※私立大学の学費は学部によってばらつきがあり、一般的に理系学部の学費が高い傾向にあります。文系学部はこの合計額より低い場合もあるので、各校のHP等でご確認ください。
※大学・学部によっては、学年が上がるにつれて授業料・施設設備費等が増額される場合もあります。

学生生活でかかる年間の生活費（自宅通学とそれ以外の形態の平均／単位：円）

※独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）「令和4年度学生生活調査」より

区分	授業料、その他の学校納付金	修学費、課外活動費、通学費	食費、住居・光熱費	保健衛生費、娯楽・嗜好費、その他	合計
国立大学	480,100	118,500	521,000	340,900	1,460,500
公立大学	465,700	117,300	429,600	323,800	1,336,400
私立大学	1,160,100	115,000	288,700	342,800	1,939,600
平均	1,006,000	141,300	335,900	341,500	1,824,700

お金は大切です。奨学金について

奨学金とは何か？

高校卒業後、経済的に進学するのが難しい人に向けて金銭的に援助するシステムです。



奨学金の種類

1 給付型と貸与型があります。

「給付型」－返済の必要のない奨学金

「貸与型」－大学卒業後に返済していく奨学金

借りた金額を返せばよい「無利子型」と、借りた金額に利息をつけて返す「有利子型」があります。

2 公的な奨学金と民間による奨学金があります。

公的な奨学金－国や地方公共団体によるもの 例) 日本学生支援機構、地方自治体(県や市町村)

民間の奨学金－民間団体が運営しているもの

例) 民間企業や地域の篤志家などが出資したもの、大学・短大など学校独自のもの

3 日本学生支援機構(JASSO)の奨学金

最も利用者数が多いのが日本学生支援機構(JASSO)の貸与型奨学金です。貸与型奨学金には、無利子型と有利子型の2種類があり、それぞれ成績や家計基準が異なります。

「第一種奨学金」(無利子)は、申込時の評定平均が3.5以上で、提示された世帯収入基準を満たしてはなりません。特に評定平均は高校1年・2年時の成績が大きなウェイトを占めるので、地道に努力を続ける必要があります。さらに大学入学後も、単位取得の状況が良くなければ奨学金受給継続が困難になる場合もあります。

「第二種奨学金」(有利子)は、進学する学校種別や通学環境に関係なく、月額2万円～12万円の中から1万円単位で希望する金額を選択できます。高校在学中に申し込む「予約採用」と、大学進学後に申し込む「在学採用」があります。学校からの連絡に注意して申し込んでください。また、「第一種」と「第二種」の併用も可能です。

◆日本学生支援機構・貸与型奨学金の貸与額							
				国公立		私立	
				自宅生	自宅外生	自宅生	自宅外生
第一種奨学金 (無利子)	最高月額	大学		45,000円	51,000円	54,000円	64,000円
		短大・専門		45,000円	51,000円	53,000円	60,000円
	その他の 月額	大学 短大・専門		—	—	—	50,000円
				—	40,000円	40,000円	40,000円
				30,000円	30,000円	30,000円	30,000円
				20,000円	20,000円	20,000円	20,000円
第二種奨学金 (有利子)	貸与月額	学校種別・進路にかかわらず、2万円～12万円の中から1万円単位で選択 ※私立大(薬学・獣医学課程)2万円増額可(月額14万円) ※私立大(医学・歯学課程)4万円増額可(月額16万円)					
入学時特別増額 貸与奨学金(有利子)	貸与金額	学校種別・進路にかかわらず、10万円、20万円、30万円、40万円、50万円の中から選択)					

給付型奨学金の申込は、貸与型奨学金と同時にされます。貸与型同様、「評定平均が3.5以上」であることに加えて、「将来社会で自立する目標を持ち、進学した大学等で意欲を持って学修するもの」という成績基準があります。また、世帯収入に応じて第1区分～第4区分までの基準が設けられています。

今年度から第4区分が創設され、世帯年収600万程の中間所得層まで支援が拡充されることになりました。ただし、3人以上扶養する子どもがいる多子世帯、または私立の理工農系学科への進学者に限られるので、内容をよく確認してください。

(『2024蛍雪時代6月臨時増刊』(旺文社)より) 更に詳しい内容は、日本学生支援機構のHPをご覧ください。